

# 同盟会かわら版



「同盟会かわら版」第13号

「塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会」（通称：同盟会）発行

## これが適地ですか？

去る9月9～10日の記録的豪雨での最終処分場候補地の「惨状」です。こんな所が「適地」とは!？  
自然の前では「想定外」は許されません！



【9月10日(木)午前10:30撮影 詳細調査候補地の冠水後の様子】

「塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会」(通称:同盟会)発行

同盟会  
かわら版

# 【サイレントアピール】 ご参加有難うございました！

9月13日(日)環境省は大田原市、那須野が原ハーモニーホールで「第3回指定廃棄物の課題解決に向けたフォーラム」(指定廃棄物の説明)を開催しました。

反対同盟会は、この説明会の開催に抗議し、計画の白紙撤回を求めるべく、会場前で再び「**サイレントアピール**」を実施し、通行

の人々へのビラ配付も合わせて行いました。当日は約200名の町民やご支援の方々にもご参加頂き、誠に有難うございました。

今後も、「指定廃棄物最終処分場候補地」の白紙撤回をめざし、抗議行動を粘り強く継続してゆきますので、引き続きご支援ご協力頂きたくお願い申し上げます。



(同盟会HP)

## 環境省、ますます危ない！

本年1月16日付の環境省からの回答書には「詳細調査は(中略)事業実施の観点から**施工が可能なことを確認するために行う**ものです。(中略)有識者会議における評価等を行った後、**最終的な候補地としてご提示できるものと考えています。**」と記されています。

ここに「**詳細調査=最終候補地決定**」という環境省の意図が明らかになっており、詳細調査は「塩谷町に最終処分場を作るのだ!」という前提で行われる(いわば手続きの一環)とも考えられます。これが、我々が詳細調査に反対する理由です。

また、市町村長会議、有識者会議、県民向けフォーラム(説明会)などを開催し、しばしば新聞広告なども投入して「人々の理解が得られた」という**既成事実を、無理やり作り上げよう**としていると考えられます。また、最近になって、**環境省から宛名のない「お手紙」の送付**や、町内他の関係先を**環境省職員が個別訪問**する事態も発生しています。

**我々は「民意を無視した」これらの環境省の画策に断固反対し、計画の「白紙撤回」を強くアピールし、我々の「強い意志」と「危機感」を再度共有致しましょう!**

### 「同盟会」の目指すもの

「指定廃棄物最終処分場詳細調査候補地」選定の「**白紙撤回**」を断固目指しています!! その為にも「指定廃棄物は各都道府県内で処理を行う」ことを定めた「**特措法の基本方針**」の見直しを要求し、放射能を拡散させないことを訴えていきます!!